

### 事業費

事業全体費用及び補助対象経費：3,240,000円

### 事業主体/運行主体

事業主体：牧之原市  
運行委託：東海タクシー株式会社  
御前崎タクシー株式会社

### 事業背景・目的

- 牧之原市のデマンド乗合タクシーは、平日週2～3日、地区ごとに曜日をずらして運行しているが、運行曜日の追加など、改善を求める意見が多い。
- また、75歳以上の高齢者や免許非保有者、障がい者などに利用者を限定しているが、誰でも利用可能にしてほしいとの意見がある。
- 以上から、デマンド乗合タクシーの運休日で路線バスの便数が約4割減少する土日祝日の運行、利用者を全年齢に拡大、乗降ポイントに新規の拠点バス停を追加することによるバス路線との接続など、サービスの拡充を図り、交通空白地区の解消を進める。

### 事業概要

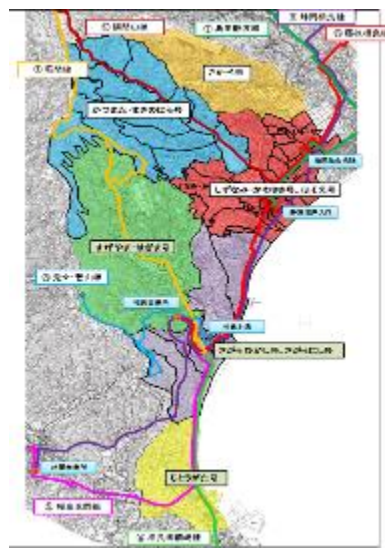
交通サービス	デマンド型乗合タクシー(サービス拡充)
運行形態	区域運行(市内全域)
法的区分	道路運送法第4条(一般乗合旅客自動車運送事業)
運行頻度	土日祝日の10:00～17:00の8便
運賃	1人300円～1,500円(ゾーン制)
実施内容	デマンド乗合タクシーが運行していない土日祝日の運行 (土日祝日運行で加えるサービス) ・年齢制限等を撤廃して、誰でも利用可能 ・一般利用を想定し、高校や拠点バス停を目的地に追加

### 運行期間

令和8年8月(交付決定日以降)～  
令和9年1月末の土日祝日(半年間)

### 事業実施地域

地区名はふりがなも記入すること



#### 「交通空白」地区名

- ① 坂部(さかべ)地区(黄土色)
- ② 勝間田(かつまた)地区(水色)
- ③ 菅山・萩間(すげやま・はぎま)地区(緑色)
- ④ 牧之原(まきのほら)地区(水色)
- ⑤ 地頭方(じとうがた)地区(黄色)
- ⑥ 榛原(はいばら)市街地(赤色)
- ⑦ 相良(さがら)市街地地区(紫色)

※土日祝日の運行便数が少ないバス路線、曜日と対象を限定したデマンド乗合タクシー、台数が少なく安定した利用ができないタクシーなど、交通ネットワークが脆弱であり、集落が点在していることから、市内全域を交通空白地域としている。

今回の運行では、市内全域を対象に、デマンド乗合タクシーのサービス拡充を図る。

### 事業イメージ



【サービス拡充事業】  
 運行曜日 土日祝日(8月～1月 約60日)  
 利用者 誰でも利用可能  
 目的地 現行デマンド：病院、スーパー、公共施設  
 拡充追加：高校、体育施設、拠点バス停

### 見込まれる事業効果

■ 拠点バス停への接続がバスの利用促進にもつながり、バス利用者数も増加

#### 【定性・定量効果】

- 利用者数は、6か月間60日の運行で、900人を見込む。
- 【「交通空白」への効果】
- 当該エリアの時間的、人的な「交通空白」解消が進む

事業実施体制

